

SANJO

会報

A booklet
about the events
in Sanjo.

7
2026

三条商工会議所会報

VOL.883

7/25号

毎月25日配信

三条商工会議所が発行する、
ビジネス情報誌

- 02..... 通常議員総会
高橋副市長講話
- 03..... 石垣ずいそう
工業部会
- 04..... 会員訪問
- 06..... 専門サービス部会
青年部だより
- 07..... 小売商業部会
飲食・サービス業部会
- 08..... LOBO調査

「つくりたい」を
あきらめない
プレス加工×3Dプリンター

(有)海老名製作所
取締役 海老名 等 氏

通常議員総会

当所通常議員総会が6月25日、ジオ・ワールドビップで開かれ、2025（令和7）年度事業報告・収支決算の議案を原案通り承認した。

総会冒頭、兼古耕一会頭は挨拶に立ち、東北地方での大きな地震や台風など自然災害への警戒感に触れるとともに、中東情勢をはじめとする不安定な世界情勢が依然として地域のビジネスに影響を及ぼしている現状を指摘した。その上で、「経済産業省からは『具体的な影響でお困りの方は是非声を上げていただければ協力する』との話も頂いている。様々な情勢により皆さんのビジネスにも当然影響があると思うが、この地域は似通った業種がまとまっているため、情報交換をしな



がら乗り切っていきたい」と力強く呼びかけ、地域企業が一丸となって難局に立ち向かう姿勢を強調した。

続いて行われた議事では、事務局より令和7年度の事業報告および収支決算が説明された。決算に関連して兼古会頭は、会費や手数料収入の年々減少により予算が厳しくなっている現状を説明し、「会館管理の内製化などで経費を圧縮しながら遣り繰りしているが、次期には対策を練らなければならないと認識している」と今後の対応の必要性について補足した。このほか、議員や副部会長、参与の異動、および特定個人情報保護規程の一部改正についても事務局から報告が行われた。



石垣ずいそ

「はたらく素顔」がある。 身近な人の輝く瞬間を一枚に

“自然体な職人の姿”を撮影してもらうことで、地域活性化やキャリア教育の一助になればと開催してきた「燕三条の職人フォトコンテスト」は、本年より「燕三条はたらく人フォトコンテスト」へと一新いたしました。これまでの「職人」という枠組みを越え、農家や学校の先生、お店の方々など、燕三条地域ではたらく“すべての人”を対象として広く身近な「はたらく姿」を募集します。

ご家族やご友人、職場の仲間など、心を許した身近な人だからこそ捉えることのできる「生き生きとした姿」があります。仕事への真摯な

向き合い方や、日々の営みの美しさがそこには確かに宿っています。地域社会を底支えする多様な方々の輝く瞬間を記録し、広く発信することは、燕三条の魅力向上と地域活性化を力強く推し進めるだけでなく、次代を担う子供たちへの生きたキャリア教育となります。

応募作品は10月に燕三条地場産業振興センターにて展示いたします。子どもたちや一般の方が撮影した何気ない日常の一枚にこそ、人に伝わる写真の価値があります。地域ではたらく人々の息遣いが聞こえるような、力強い作品のご応募を心よりお待ちしております。

燕三条はたらく人フォトコンテスト実行委員会
(株)ウスタ代表取締役社長

薄田和輝



まちづくり＝人づくり

学校での学びと社会の動き融合、高橋誠一郎副市長講話

4月1日に就任した高橋誠一郎三条市副市長が、6月25日に開かれた当所通常議員総会後「まちづくりは『ひとづくり』に思いを馳せて」のテーマで講話した。高橋副市長は三条市が取り組んでいる「三条市の特色を生かしたキャリア教育の充実」が目指す方向性について、「学校での学びを意識しながら、地域で働く人たちの熱意や、働く人たちが何を目指すのか、働く誇りを肌身で感じるこそ、子どもたちにとって価値がある。そうやって育まれた人材が、三条を、この日本を豊かにしてくれるようになるように」と述べた。

高橋副市長は、中学校教諭や三条市教育委員会事務局職員、三条市教育長を経て副



市長に就任した。講話では三条市教育委員会が全国に先駆けて取り組んでいる小中一貫教育や、市内100社以上が登録する「三条キャリア教育バンク」について紹介。

特に学校だけでなく、事業所を含む地域ぐるみで子どもを育む三条キャリア教育バンクについて「学校での学びと実社会で起きている現象や、世の中の動きがどう関わっているのか考えることが重要であり、子どもたちは学校以外の非日常の場面での学びが、学校での学びとつながることを知ると、とても目を輝かせてくれる」と、その意味合いを強調。事業所にとっても、子どもたちの見学の受け入れや、子どもたちにわかりやすく説明することなどで、従業員のモチベーション向上などが期待できるとして、常議員会出席者にキャリア教育バンクへの理解を求めている。

現場の熱中症対策とリスク管理学ぶ

工業部会「工場における熱中症対策事業」

6月10日、当所工業部会は、社会保険労務士法人こじま事務所代表の小島正晴氏を講師に招き、本格的な夏に向け、工場の現場における熱中症対策を学んだ。

小島氏は、労働安全衛生法の改正等に伴い、職場での熱中症対策が強化されており、重大事故発生時に企業を守るためには、「気をつけて」といった主観的な配慮ではなく、「WBGT値（暑さ指数）の測定と記録」、「基準値を超えた際の『休憩時間の追加』等の対応策」、「健康状態のチェック」など、「客観的証拠」を残すことが極めて重要だと説明した。

現場の実態と対策では、体が暑さに適応する「暑熱順化」には約7日間かかるが、4日間以上暑い環境に居なかった場合、耐



性が大きく失われるため「新規入職者やお盆などの連休明けの作業員は特にリスクが高い」と注意を促した。

具体的な対策としては、不透湿性のつなぎ服などは、熱の封じ込めにより「実際の熱ストレス」が跳ね上がるため、単なる気温ではなく、WBGT実測値に衣服に応じた補正値を加算してリスク評価を行うこと。労働者が異常を感じた場合、容体が急変して自らSOSを出せなくなる恐れがあるため、絶対に1人にしない（バディ制の徹底）ことが必須であること。意識障害や応答の異常があれば迷わず「119番」を要請すること。などが重要と話していた。

会場には、工場の暑さ対策グッズの展示ブースも設けられ、講演後には解説を交えた自由見学も行われた。



プレス加工×3Dプリンター

プレス加工と冷間鍛造によるOEM生産を主軸とする金属加工業者。200t門型サーボプレス機や630tナックルプレス機を有し、板厚8mmの特殊鋼（S50Cなど）を用いた厚物加工を得意とする。近年は3Dプリンターによる開発・製造事業に注力しており、社名をもじった「エビプリ」の名称でPRしている。

同社は、等氏の祖父・長市さんが個人事業として創業し、現在のプレス加工・冷間鍛造の基礎を築いた。長市さんは三条市内の畳屋に生まれたが、時代の流れを汲み、金属加工業を創業した。

「長年、車載工具などのOEM生産が主力でしたが、リーマン・ショック時に大きな打撃を受けました。自社製品の開発も検討したものの、最終製品を作るためのコストや手間が当社にとっては大きな壁でした」と等氏は振り返る。

転機となったのは、所属する異業種交流団体・三条エコノミークラブの事業で、小説『下町ロケット』のモデルとなった植松努氏の講演を聴講したことだった。これをきっかけに「自社設備にこだわらず、何か新しいことを始めよう」という価値観に気づかされたという。等氏は新規

事業を見据え、ドローン空撮や動画制作に着手。趣味のアルペンスノーボード等の撮影を進める中で、当時は「造形の自由度は高いがもろい」というイメージが先行していた3Dプリント品が、実際の製品に組み込まれ実用化されているのを目の当たりにした。

近年の3Dプリント品は高機能素材の登場により、柔軟性や耐衝撃性、200℃以上の耐熱性などを実現できる。初期投資を抑えられ、設計変更が比較的容易であることから、「製品をつくりたい」というチャレンジを強力に後押しできることが最大の強みだ。

等氏は「自社を知ってもらい、本業に付加価値を加える強力な武器になる」と確信し、CADの初歩から3Dプリンターを学んだ。既存のプレス加工や冷間鍛造のノウハウと、3Dプリンターの知見を掛け合わせた事業を本格化させ、これまでに展示会用試作、商品開発、現場の治具製作、簡易プレス金型、スノーボード日本代表選手へのパーツ提供など、特殊形状や小ロットの3Dプリント品を数多く生み出してきた。

念願の自社製品、その名も「エビロック」

3Dプリンター事業に取り組んで約4年、ついに念願だった自社製品の開発に成功した。アルペンスノーボードの性能向上を目的に装着す

る「プレート」を、ボード本体に取り付けたまま容易に持ち運べるようにするアタッチメント、その名も「エビロック」だ。今年度のグッドデザイン賞にもエントリーした。等氏は『「アイデアがあり、新しいことに挑戦したいが初期投資が重しになっている」という方でも、数万円でそのアイデアを形にできる場合があります。また、3Dプリンター一辺倒ではなく、従来の加工法が適している場合も見据え、プレス加工・冷間鍛造というバックボーンがあるからこそ、最適な相談やアドバイスが可能です。この技術を広め、地場産業の新たな可能性を後押ししたい」と意気込む。

自動化と3Dプリンターによる補完

自社の課題解決に向けても3Dプリンターを利活用し、プレスや鍛造加工の汎用自動化による省力化を進めていく方針だ。「自動搬送機で加工部材を掴む治具などに、3Dプリンターの技術を活かすことができます。省力化だけでなく作業の安全性も担保できるため、自社の将来を見据え、収益性の適正化とともに実現したい目標です」と等氏は語る。時代の流れを汲んで業態を変化させた祖父の背中を追うように、等氏も3Dプリンター事業に注力しつつ、次なる時代の流れをしっかりと見据えている。

(有)海老名製作所

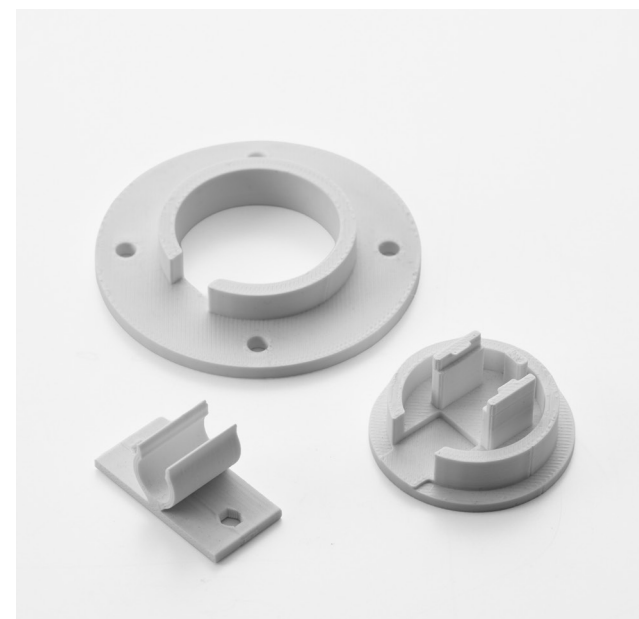
三条市金子新田327-1
TEL : 0256-32-4076 FAX : 0256-35-4528
HP : <https://ebina-mfg.co.jp/>
Instagram : <https://www.instagram.com/ebina.seisakusyo>



HP



Instagram



中小企業を狙うサイバー攻撃の実態学ぶ 【専門サービス部会】情報セキュリティ対策セミナー

当所専門サービス部会は7月6日、三条ロイヤルホテルで「情報セキュリティ対策セミナー」を開催し、25社28名が参加した。NTT株式会社の松原実穂子氏を講師に迎え、急増するランサムウェア（データをロックし復旧のための身代金を要求するウイルス）被害の実態や、企業が取り組むべきセキュリティ対策について理解を深めた。

松原氏は、新潟県内の企業の31.2%がサイバー攻撃の被害経験を持つことや、ランサムウェア被害の7割を中小企業が占める現状を報告。被害による信用失墜が取引解除を招き、資金繰りの悪化から倒産にまで追い込まれるケースも多いと警告し、データ復旧の保証がないため身代金の支払いを勧めることはできないと明言した。

サイバー攻撃の具体的な手口として、社長や経営幹部になりすましてLINE登録を促すSNS乗っ取りや、PC画面に偽の警告を出して遠隔操作ソフトを導入させる「サポート詐欺」など他県での被害事例も交えて注意を促した。さらに、生成AIの普及でフィッシング詐欺が容易になったほか、偽の映像や音声を生成したディープフェイクを用いたビデオ通話詐欺など、手口の巧妙化についても指摘した。

対策としては、SNSのパスワード認証への依存脱却や、不審な指示に対する別ルート（口頭など）での真偽確認などが重要だと強調。参加者からは、自らが標的となっている事実への驚きの声が上がリ、終了後の懇親会でも講師と積極的に交流する姿が見られた。

青年部だより

なんで三条YEGは他団体とかやってるの？

当所青年部は5月28日、青年部会員の高橋達也氏と三浦佑太郎氏を講師に招き、「なんで三条YEGは他団体とかやってるの？」と題したセミナーを開催した。



本事業は、他団体に出向して活動している現役会員の講話を通じて、当所青年部が「燕三条工場の祭典」や「白朗会」に参画している意義を改めて理解し、今後の他団体出向活動に意欲的に取り組む「ONE TEAM」となることを目的としている。

セミナーでは、高橋氏が「三条風合戦の魅力と三条商工会議所青年部が白朗会を立ち上げた理由」について、続いて三浦氏が「燕三条工場の祭典が目指すものと三条商工会議所青年部との親和性」について、それぞれ自身の経験や出向先での実態を交えながら熱弁を振るった。

参加者からは「今まで詳細がよく分かってい

なかったもので、直接話を聞けて良かった」といった声が寄せられた。実際に出向して第一線で活躍する会員の生の声を聞くことで、会員一人ひとりが他団体出向への理解を深め、白朗会や燕三条工場の祭典に対する参加意欲を大いに高める有意義な契機となった。



小売商業部会

SNS・ブランディングに着手する前に マーケティング実践ワークショップ

当所小売商業部会は、お米デザイン株式会社代表の葉茸正幸氏を講師に招き、「マーケティング実践ワークショップ（全3回）」を開催している。6月4日に当所で第1回（参加14名）を、7月3日には三条ロイヤルホテルで第2回（同17名）を実施し、業績向上を目指す各事業所が実践的な学びを深めている。

このワークショップは、SNSやウェブサイト、ブランディングなどに本格着手する前に事業の基礎設定を整えてもらうことが目的。第1回では異業種を交えた対話形式のワークを行い、顧客観察から売れる商品の「喜ばれている点」を発見し、利益の出る構造を理解する土台作りを行った。

「お盆に結果を出す」を目標に掲げた第2回では、即効性のあるWeb活用策に焦点を当てた。Google検索上に表示される店舗情報を管理できる「Googleマイビジネス」についての解説では、店舗名表記の統一や口コミへの丁寧な返信が、AIに最

新の情報を収集させるために極めて重要と指摘した。



また、インスタグラムでショート動画（ストーリーズ）をプロフィールに表示し続けるハイライト機能を用いた価値伝達や、BtoB向けメール配信ツールを活用など、営業担当者の個人スキルに依存せずに既存顧客の離脱防止や休眠顧客を掘り起こす仕組みづくりが解説された。さらに、商品の機能面だけでなく「誰のために作られたか」という「情緒的価値」をPOP等で表現する手法や、社会性を加えたプレスリリースの編集手法も共有された。

最終となる第3回は「数字から売上を上げ、原価を下げる経営視点」の習得に向け、8月7日（金）に同ホテルで開催される予定。

～直面する課題と「面」の連携に向けて～

飲食・サービス業部会部会員大交流会

当所飲食・サービス業部会は6月16日、部会員大交流会を開催し、17事業所が参加した。各社が抱える経営課題や現状の取り組みについて、活発な意見交換が行われた。会議では、物価高騰に伴う価格転嫁の難しさ、深刻な人手不足、設備の老朽化が共通課題として浮き彫りとなった。具体的な対応策や直面する苦境として、次のような声が挙がった。

「人手不足に対し、単発人材派遣サービスを柔軟に活用して人員を確保している」
「消費者の『タイムパフォーマンス』重視の傾向から従来品の需要が減少し、弁当

用や業務用への販路転換を急いでいる」
「情報発信の遅れを取り戻すため、学生アルバイトを巻き込んでSNS運用体制を構築した」

上記のほか、高額な設備修繕費に苦慮する切実な現状も複数報告された。

本寺小路など中心歓楽街の空き店舗増加による魅力低下に対し、強い危機感が示された。個店単独での集客には限界があるとし、部会員間で最新情報を共有して相互送客を行うシステムの構築や、インバウンド需要を地域一帯で受け入れる「面」での連携強化を求める意見が相次いだ。

6月LOBO調査(商工会議所早期景気観測)

調査期間:令和8年6月15日～19日

調査対象:全国の323商工会議所が2,414企業にヒアリング

※DI値(景況判断指数)について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味着。

$$DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

業況・採算：(好転) - (悪化)

売上：(増加) - (減少)

業況DIは、中東情勢の影響が一部軽減し改善 先行きは期待感うかがえるも、課題多く慎重な見方

全産業合計の業況DIは、▲22.2（前月比+2.1ポイント）

引き続き全業種で中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー・仕入価格の上昇等の影響が見られているが、中東情勢の緊張緩和に向けた動きや政府による対応の効果もあってか、一部事業者からは供給再開や代替品の提供等による影響の軽減が指摘されている。こうした中、建設業・製造業・卸売業で設備投資需要がけん引する形で引き合いが見られたほか、小売業で価格転嫁に進展が見られ、改善した。

自治体による物価高対策の効果や夏のボーナスへの期待感が聞かれたものの、長引く物価高や円安の影響で消費マインドは弱めの動きが続いている。

先行き見通しDIは、▲23.2（今月比▲1.0ポイント）

自治体による物価高対策や高水準での賃上げが下支えとなっているほか、中東情勢の戦闘終結に対する合意により、段階的な事態の収束が期待される。

一方、足もとの仕入価格の上昇が夏ごろに物価に波及するとの見通しもあり、今後の消費マインドへの悪影響も懸念される。また、国際情勢が不安定化する中、コスト高とその分の価格転嫁や人手不足等、依然として経営課題は山積しており、先行きは慎重な見方となっている。

6月全産業DIの推移

		全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全国	6月の業況(前年同月比)	▲22.2 →	▲22.7 →	▲20.6 →	▲24.5 ↗	▲29.2 →	▲17.5 →
	先行き見通し(3ヶ月先の見通し)	▲23.2	▲21.4	▲21.0	▲30.9	▲26.8	▲20.7
北陸 信越	6月の業況(前年同月比)	▲25.4 →	▲35.3 →	▲20.9 →	▲45.0 ↓	▲22.2 ↗	▲17.0 ↗
	先行き見通し(3ヶ月先の見通し)	▲26.0	▲38.2	▲20.9	▲30.0	▲25.9	▲20.8

※→は5月の業況DIとの比較。±5未満は横ばい(→)、±5以上15未満(↗↘)、±15以上(↑↓)

令和8年
8月 三条商工会議所専門家相談日
秘密を厳守しておりますのでお気軽にご相談ください!

ご相談
無料

相談時間:10:00～12:00 ※一部時間が異なります。

会 場:三条商工会議所3F相談室

(資金繰り相談のみ2F日本政策金融公庫三条支店)

税理士による
税務・消費税
対策相談

7(金)

弁護士による
法律相談

19(水)

事業承継
相談

19(水)

知的財産権相談

10(月)と27(木)

※13:00～16:00

M&A相談

5(水)

社労士による労務相談
行政書士による行政書士相談
随時お受けしております貿易相談
BCP相談
随時お受けしております日本政策金融公庫による
資金繰り相談
随時お受けしております

TEL 0256-32-1311

まずはお電話にてお申し込みください。

※「税務・消費税対策相談」「法律相談」「事業承継相談」「M&A相談」「知的財産権相談」は相談日の7日前迄に予約が無い場合は中止となります。(予約締切日が休日の場合は、その前日迄にご予約ください。)